

住友スリーエム、『通販生活』向けに窓用遮熱フィルムの販売を開始 高い透明度を実現しながら、効果的に赤外線・紫外線をカット



「窓用遮熱フィルム」を窓ガラスに貼るイメージ (写真提供: 株式会社カタログハウス)

住友スリーエム株式会社(本社:東京都世田谷区 代表取締役社長:三村 浩一)は、このほど株式会社カタログハウス(本社:東京都渋谷区 代表取締役:佐倉 住嘉)と提携し、同社の発行する通販誌向けの窓用遮熱フィルムを開発、買い物カタログ雑誌『通販生活』において販売を開始しました。

従来の窓ガラス用遮熱フィルムは、粘着面のねばつきが大きいため、ガラスへ貼る際には粘着面に中性洗剤を含んだ水を噴霧し、ねばつきを抑えながら貼り付けます。しかし、水の量や中性洗剤の量、周囲の温度などにより、ねばつき具合が大きく変動するため、ガラスへ貼り付ける作業には一定の経験と技術を要していました。

住友スリーエムが『通販生活』専用開発した新製品の窓用遮熱フィルムは、一般消費者の方が窓ガラスに貼り付ける作業時の負担を軽減できるように粘着剤を改良しました。粘着面のねばつきを抑え、初期接着力を抑えています。そのためフィルムの貼り直しが容易で、フィルム貼り付け作業に慣れていない方でも安心です。また、初めての方でもフィルムが正しく貼れるように、貼り方をわかりやすく解説した手順書を同梱しています。

本窓用遮熱フィルムを窓ガラスに貼付することで、暑さの原因となる赤外線を82.5%カットしますので、窓際の快適性向上と夏場における空調負荷の低減に効果的です。室内の家具などの褪色や肌のシミの原因である紫外線を99.6%カットします。本製品は可視線透過率83%を実現していますので、ガラスに貼付してもガラス本来の持つ透明性を損なわないことも特長です。さらに、JIS規格のガラス飛散防止性能も満たしており、災害時や人体衝突などによりガラスが割れた際のガラス片の飛散を抑制する効果があります。

昨年に引き続き、省エネルギー・節電対策として新築・既設のオフィスや商業施設、医療施設、学校、各種店舗などの窓ガラスへの遮熱フィルムの採用が加速するなか、当社は一般家庭においても遮熱対策、安全対策へのニーズが高まると予測しています。今般のカタログ通信販売による流通チャネルの拡充により、更なるウィンドウフィルムの販売拡大を目指します。

【参考資料】

『通販生活』向け窓用遮熱フィルム

製品仕様	72cm× 180cm・2 枚組
	72cm× 90cm・2 枚組
	50cm× 90cm・2 枚組
	90cm× 180cm・2 枚組
フィルム厚	0.076mm



「窓用遮熱フィルム」(写真提供: 株式会社カタログハウス)

【関連情報】

■株式会社カタログハウス

<http://www.cataloghouse.co.jp/>

窓用遮熱フィルムに関するお問い合わせは
株式会社カタログハウス TEL: 0120-164-164

『通販生活』は、カタログハウスの登録商標です。

3M、スコッチテントは、3M社の商標です。